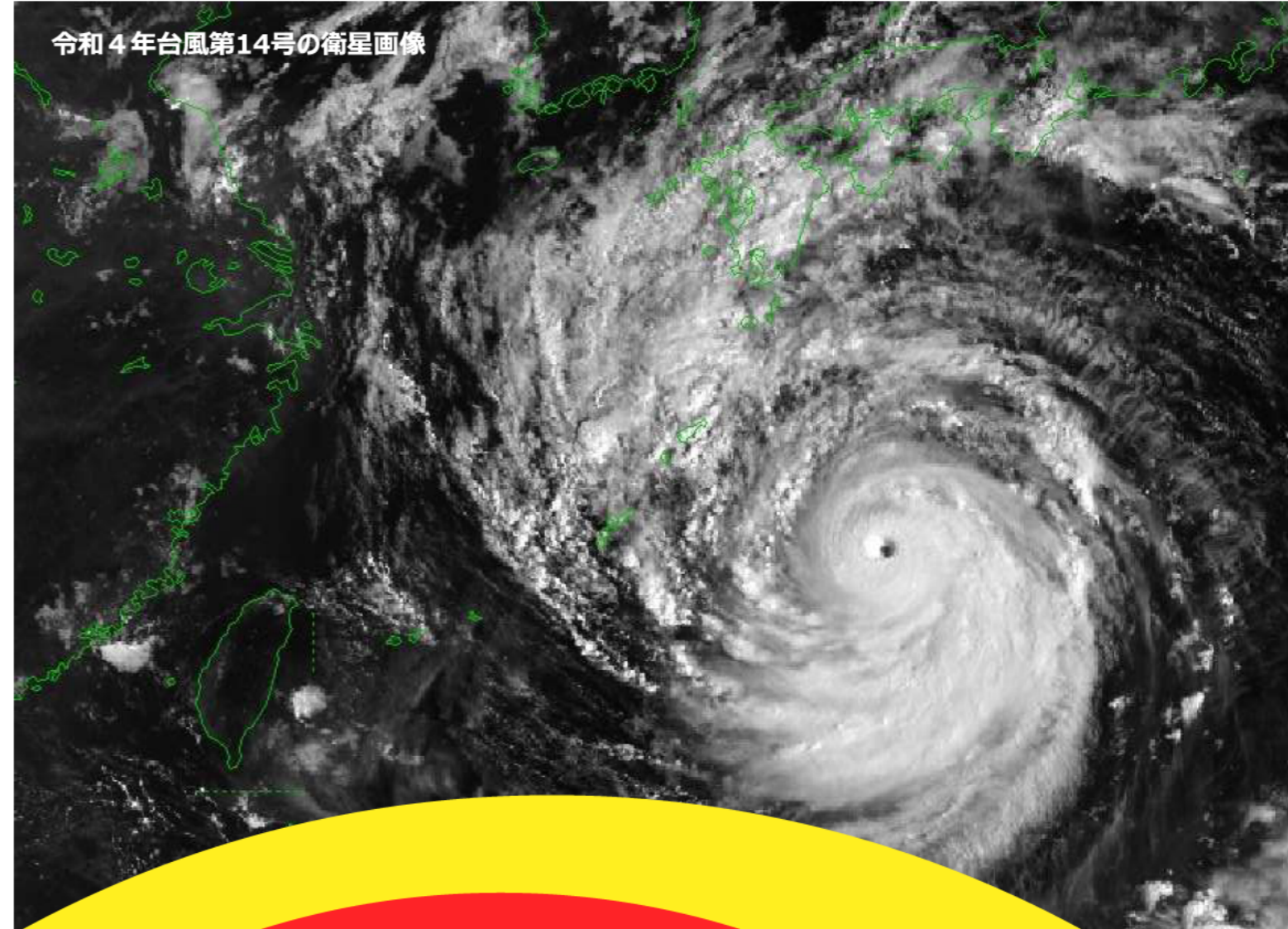


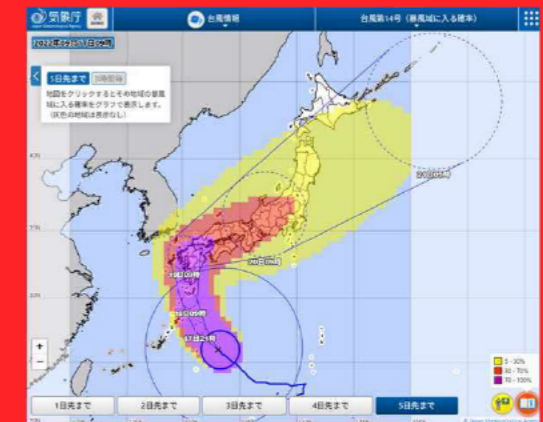
台風情報についてもっと知るために…

令和4年台風第14号の衛星画像



台風情報の見方

— 情報を効果的に利用して
災害から命を守るために —



台風の定義

台風	北西太平洋または南シナ海に存在する熱帯低気圧のうち、低気圧域内の最大風速がおよそ17m/s (34ノット、風力8) 以上のもの
熱帯低気圧	熱帯または亜熱帯地方に発生する低気圧。気象情報等では低気圧域内の最大風速がおよそ17m/s未満のものを指す

台風情報の種類

種類	発表内容
進路・強度予報 台風経路図	台風や発達する熱帯低気圧 (24時間以内に台風に発達すると予想される熱帯低気圧) が存在する期間中、台風の位置や強さの実況と予報を発表 <ul style="list-style-type: none"> 実況*1 12時間先*2、24時間先の予報*1 5日先までの1日刻みの予報*1 なお、台風が日本に大きな影響を及ぼすことが見込まれる場合は、24時間先までの詳細な位置や強さの予報を発表 <ul style="list-style-type: none"> 1時間後の推定値*3 24時間先までの3時間刻みの予報*1
台風に関する全般気象解説情報	台風や発達する熱帯低気圧、台風から変わった温帯低気圧や熱帯低気圧の今後の見通し、防災上の注意事項や台風の上陸に関する情報等 (随時発表)
暴風域に入る確率	市町村等をまとめた地域毎の確率と格子毎の確率の分布について、120時間先まで3時間刻みの各時間帯と24、48、72、96、120時間以内の確率*4

- (*1) (0), 3, (6), 9, (12), 15, (18), 21時 (正時) の観測時刻から約50分後に発表。ここで、カッコ内の時刻では実況と24時間先までの予報のみ発表 (発達する熱帯低気圧や台風が複数存在するときは約70~90分後になることがある)
- (*2) 台風の動きが遅い場合は、省略することがある
- (*3) 毎正時の観測時刻から約50分後に発表
- (*4) 3, 9, 15, 21時 (正時) の観測時刻から約60~70分後に発表 (発達する熱帯低気圧や台風が複数存在するときは約80~120分後になることがある)

台風情報で用いられる用語

予報円	台風の中心が予報時刻に到達すると予想される範囲 (確率はおよそ70%)
強風域	台風周辺で風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲
暴風域	台風周辺で風速25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲
暴風警戒域	台風の中心が予報円内に入ったときに暴風域に入るおそれがある範囲

台風の強さの表現

表現	最大風速 (台風域内の10分間平均風速の最大値)
(表現しない)	33m/s未満
強い台風	33m/s以上 44m/s未満
非常に強い台風	44m/s以上 54m/s未満
猛烈な台風	54m/s以上

台風の大きさの表現

表現	強風域の半径	台風の平年値 (1991~2020年の1年間あたりの平均値)	
(表現しない)	500km未満	発生数	約25個
大型 (大きい)	500km以上 800km未満	日本への接近数	約12個
超大型 (非常に大きい)	800km以上	日本への上陸数	約3個



気象庁

〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9 TEL: 03-6758-3900
<https://www.jma.go.jp/jma/>
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>



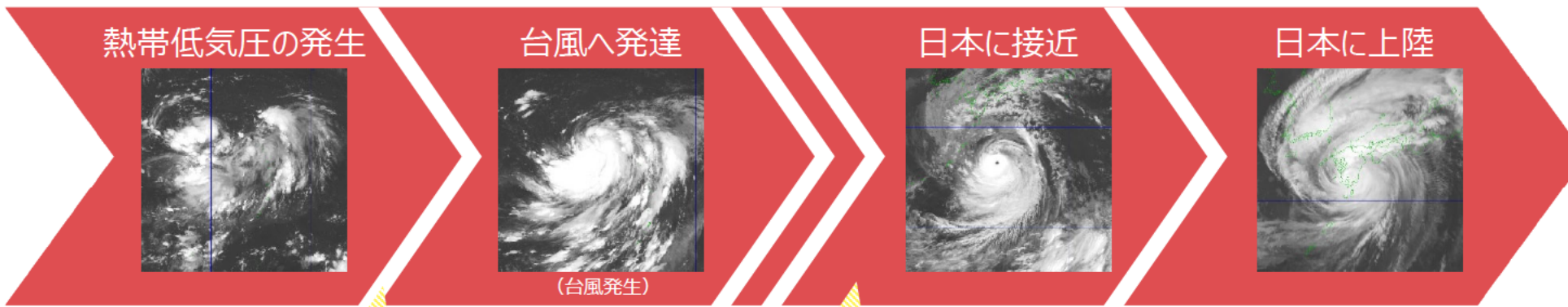
▲台風情報



台風の発生から上陸まで

気象庁は台風発生が予想される24時間前から台風情報を発表します。

▼ 日本に接近・上陸する台風の衛星画像の例

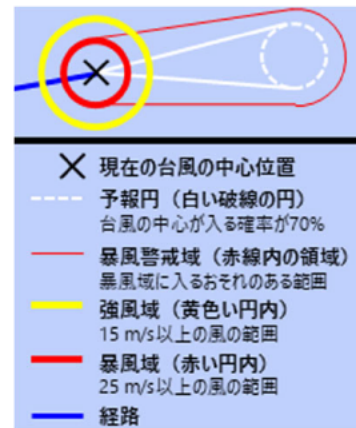
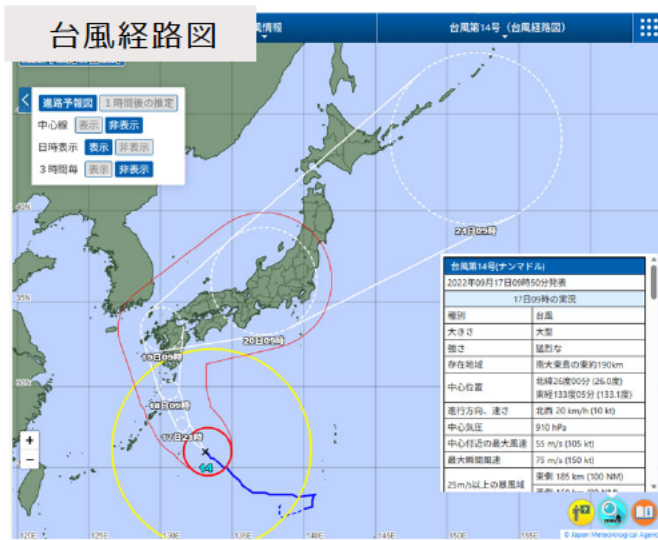


「熱帯低気圧」が発達して、低気圧域内の最大風速がおよそ17m/s以上になったものを「台風」と呼びます。

台風が日本に接近するまでに、早めに備えをしておくことが重要。

台風経路図、全般気象解説情報

台風・熱帯低気圧の位置や強さなどを予報し、防災上の注意を呼びかけます。



台風に関する全般気象解説情報

令和4年 全般気象解説情報 (台風第14号) 第42号
令和4年9月17日11時04分 気象庁発表

(見出し)
大型で猛烈な台風第14号は17日昼過ぎに大東島地方へ最も接近した後、17日夜から19日にかけて奄美地方と九州にかなり接近する見込みです。暴風や高波、高潮、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒してください。九州南部と九州北部地方では記録的な暴風や高波、高潮、大雨となる

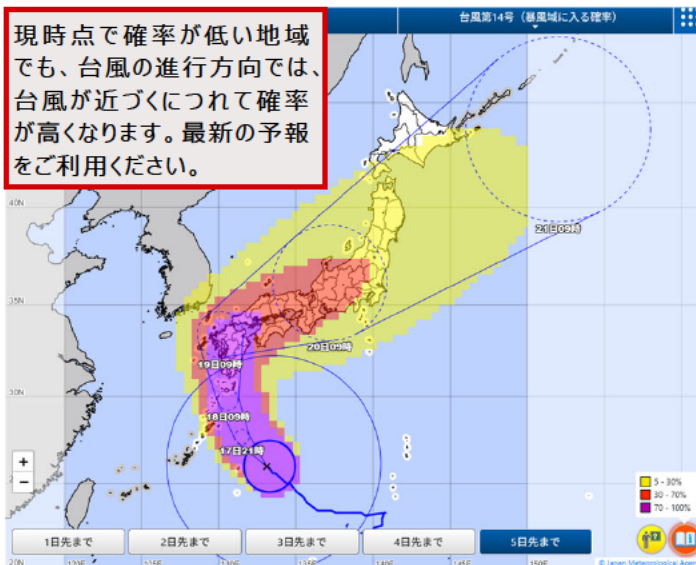
台風や発達する熱帯低気圧、台風から変わった温帯低気圧や熱帯低気圧の今後の見通し、防災上の注意事項や台風の上陸に関する情報等を解説します。

暴風域に入る確率

25m/s以上の暴風域に入る確率を分布図と地域ごとの時系列グラフで発表します。

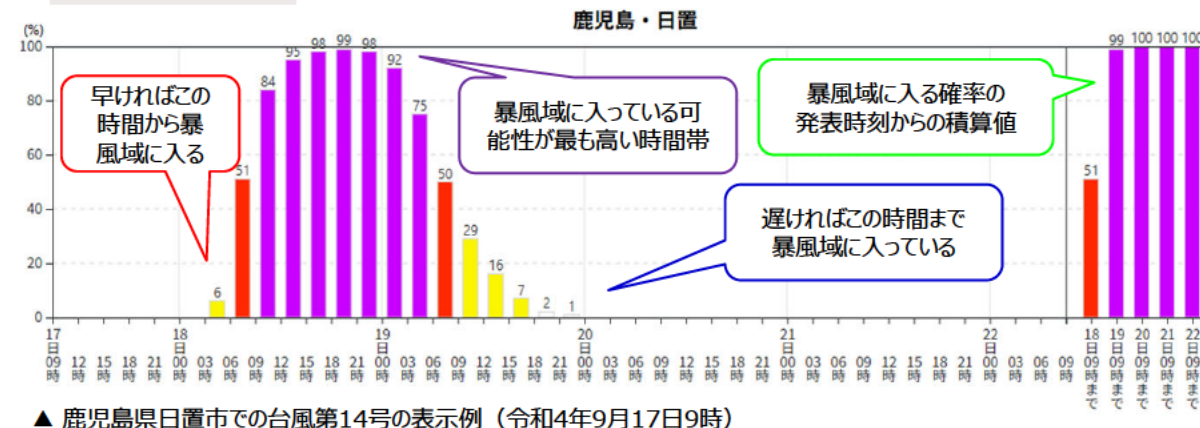
分布図

5日先までの暴風域に入る確率を色で表示します。



時系列グラフ

地域ごとの暴風域に入る時間帯を知ることができます。



25m/s (90km/h) は高速道路の自動車並みのスピード！
立ってられないくらいの風なので大変危険です。

—災害から命を守るためには？

日頃からの備え

気象情報の入手先を確認しておきましょう
テレビ・ラジオ スマホアプリ ホームページ など。

ハザードマップなどで自宅とその周辺の危険な場所を事前に確認しましょう

避難場所を把握し、いざという時の行動を考えておくことが重要です。

台風接近の数日前

最新の情報を利用しましょう

発表される情報の種類や使用される用語については裏面をご覧ください。

家の外の備えをしましょう

風で飛ばされそうなものは固定するか、家の中に片付けましょう。

家の中の備えをしましょう

非常用品の確認や水の確保をしましょう。

台風が近づいた時

危険な場所には絶対に近づかないようにしましょう

- ・増水した河川のそば
- ・崖や渓流のそば
- ・高波が打ち寄せる海岸
- ・高潮や洪水によって浸水のおそれがある低い土地

暴風により避難が困難になりますので、暴風が吹き始める前に避難しましょう。

台風が過ぎても

台風が温帯低気圧に変わっても要注意!

台風が通り過ぎたり、温帯低気圧に変わったりしても、警報や注意報が解除されるまでは、油断しないようにしましょう。

台風が温帯低気圧に変わるときに、暴風域が急速に広がることもあります。

台風接近時の防災行動計画 (タイムライン) に沿った早めの防災対応に役立つ情報として、台風情報の他に、5日先までの警報級の現象の可能性について発表する早期注意情報や、警報・注意報、大雨によって災害発生の危険度の高まっている地域を表すキキクルも気象庁ホームページで提供しています。